

## 2024年度 自己点検・自己評価(結果表)

幼保連携型認定こども園 朝日幼稚園

園長 山下 瑞音

今年度の自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上ならびにこども園運営の資質向上につとめてまいります。

実施日 令和6年11月9日

対象職員	人数
主幹保育教諭	2名
保育教諭	4名
事務	1名
計	7名

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する 回答なし
--

### 【1】保育目標・計画・実践に関する評価

No.1

項目	内容	A	B	C	D	回答なし	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育目標の具体化に向け、幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○				・学期ごとに園児一人一人の目標や保育内容を職員会議で共有することができている。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。		○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○				
保育について	(1) 指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。		○				・計画は立てるが、幼児の特性上予想と違ったり子どもの主体性を考えると改善が必要。
	(2) 幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○				
	(3) 環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。		○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○				
日時程	(1) 一日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。			○			・全体的に時間を早めてもよいと思う。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○				・アンケートを通して保護者の思いを反映していきたい。・行事が多い。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	(3) 幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○				

## 【2】保育を支える学校運営に関する評価

項目		内容	A	B	C	D	回答なし	意見・改善策
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○				・用品の注文などは各自でおこなうべきでは。 ・職員の数が多いが必要な時に必要な配置ができていないことがある。
		(2)職務内容が明確で、協議できる体制になっているか。		○				
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○				
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。			○			
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○				・会議の回数が増え情報共有がスムーズになった。個人の意見が言いにくいのが課題。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○				
		(3)打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○				
	年齢別・クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○				・必要に応じて合同保育をして各担任が互いにフォローし合っている。またそれが自然にできているのが当園の強み。 ・合同保育はねらい・意味を考えておこなわなければならない。
		(2)年齢別・クラス目標は、幼児の実態に即して設定しているか。		○				
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○				
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○				
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○				
		(6)評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○				
	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○				・計画はあるが、振り返りができていないこともある。 ・園児の体調等に関しては個別に丁寧に対応している。
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○				
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○				
		(4)幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○				
	研究・研修	園内研究・研修	(1)研究主題は、園目標の具体化につながるものであるか。		○			・今年度はキリスト教保育について深める為、職員会議でもキリスト教について知ることも始めた。 ・園内研修を増やしたが夜遅くなることも多く、職員の負担になっていないか心配。 ・研修の機会が多く嬉しい、また内容をオンタイムで共有し、実際の保育に活かすことができている。
(2)園内研修の計画・運営は適切か。				○				
(3)研究の成果を日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映させているか。				○				
(4)研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか。				○				
園外研究・研修		(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態度の充実を図っているか。		○				
		(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○				

項目	内容	A	B	C	D	回答なし	意見・改善策		
情報について	(1) 幼児や保護者に関する個人情報を選正に取り扱っているか。	○							
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○						
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○						
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○				・おもちゃの消毒(おままごと、ブロック)を定期的にした方がよい。・不審者対応の避難訓練の実施(園庭遊びも含めて)・見落とし防止のため、一斉に点検する機会があってもよい。		
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○						
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○						
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○						
出納経理	(1) 各種会計を選正かつ適切に処理しているか。					○			
開かれた園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、園目標や課題に添ったものになっているか。					○		
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。						○	
		(3) 指導者同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。						○	
		(4) 参観や保育・授業などに参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。						○	
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。						○	
	家庭・地域社会との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。						○	
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。						○	
		(3) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。						○	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。						○	
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○				・おひさまひろば、子育てほっと、ひまわりとの連携など力を入れている。 ・おひさまひろばは安全のため人数制限をしたほうがよい(リトミック・英語以外)	
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○					
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○					
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○					
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○					
	情報の発信	(1) 園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○				・周知は様々な方法で行っている。	
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○					
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。					○	将来的に第三者評価を受診するがまずは関係者評価を充実させる。	
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○					

その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方との関わりについては、対面で言葉でのやりとりをしっかりと行い、開かれた園を目指している。</li> <li>・合同保育により他のクラスの子どもの様子がよくわかり、園全体で声のかけ方やかかわり方を共有できている。みんなで声を掛け合って園の雰囲気がよくなっている。</li> <li>・行事が多いとどうしても詰め込みすぎや予定がぎりぎりになってしまう。</li> <li>・(安全面)階段に柵があったほうがよい、玄関も必ず施錠しているが、道路に面しているのもう一段何かあるとより安全になると思う。</li> </ul>
総評	<p>こども園移行以来、安全管理の徹底を心掛けてきたことから安全を第一とする保育が実践できている。また、以前より課題であった地域との関わりについても、大きな改善が見られた。昨年度は職員間の情報共有の改善の必要が認められたが、今年度は職員会議の回数を増やすこと、また非常勤職員も参加することにより、綿密な情報共有が可能となった。園内研修についても、質の向上のため外部講師を招いて研修を行っており、保育の向上につながっている。</p> <p>一方で職員の負担増加が今後の課題となる可能性がある。特に今年度は園庭開放参加者の増加等により、一時的に人員不足になる機会が多々あった。これについては施設の大きさや設備、動線による制限が大きいかかわっているため、施設の立て直しが急務であると考えている。</p>